

テスラ：S&P 500 ESG 指数に自動的に採用されるわけではない



Daniel Perrone

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス
ディレクター兼オペレーションのヘッド、ESG 指数

この資料は、2020年12月22日に弊社ブログ Indexology® に掲載された文書の翻訳版です。英語版と日本語版の間に内容の相違がある場合は英語をご参照下さい。

英語版：[Tesla: Not an Automatic Addition to the S&P 500 ESG Index – S&P Dow Jones Indices \(indexologyblog.com\)](https://www.indexologyblog.com/tesla-not-an-automatic-addition-to-the-s-p-500-esg-index)

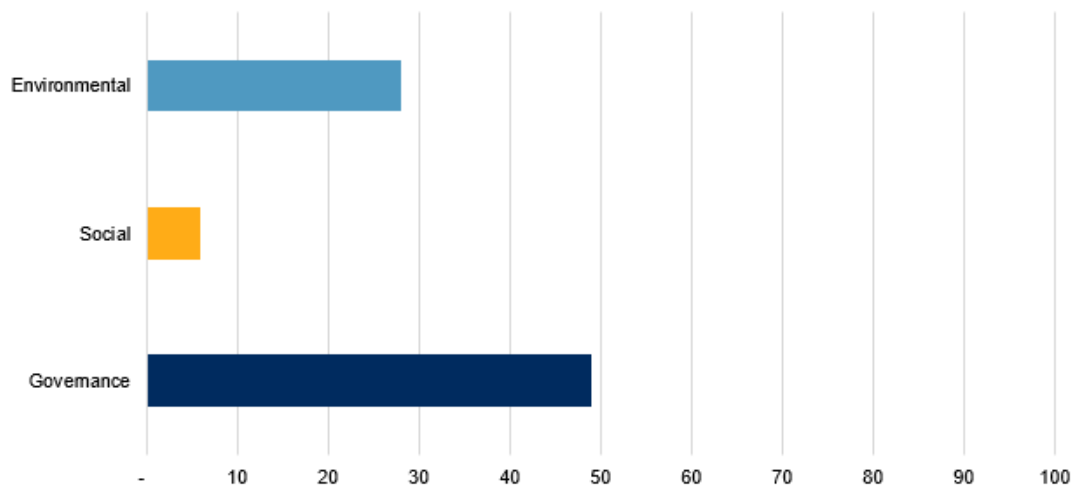
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、2020年12月21日にテスラを **S&P 500®** に採用することを発表しました。それ以降、この革新的な企業が、S&P 500 のサステナブル指数である **S&P 500 ESG 指数** にいつ採用されるかについて、多くの投資家からお問い合わせをいただいています。ご質問に回答すると、テスラを **S&P 500** に採用したからといって、同社を自動的に **S&P 500 ESG 指数** に採用するわけではありません。ただし、**S&P 500 ESG 指数** の次回の年間リバランスが **2021年4月末** に実施されることになっており、その際にテスラの採用可否を判断する予定です。しかし、その時点でテスラを **S&P 500 ESG 指数** に採用することを保証するものではありません。様々な基準に基づいてテスラのサステナビリティ・パフォーマンスを同業他社と比較した上で、S&P 500 ESG 指数に採用するかどうかを決定します。

テスラの ESG スコア

企業を S&P 500 ESG 指数に採用するかどうかを判断する上での重要な要素は、その企業の S&P DJI ESG スコアです。このスコアは、**SAM (S&P グローバルの一部門)** が毎年算出する **コーポレート・サステナビリティ評価 (CSA)** から導き出されます。CSA は、財務的に重要な ESG 指標に基づく非常に詳細かつ業界固有の質問票です。CSA により収集された知見が ESG スコアの根幹を成しており、ESG スコアに基づいて S&P 500 ESG 指数に採用される企業を選択します。

図表 1：テスラの ESG ディメンション・スコア (2020 年)

Exhibit 1: Tesla's ESG Dimension Scores (2020)



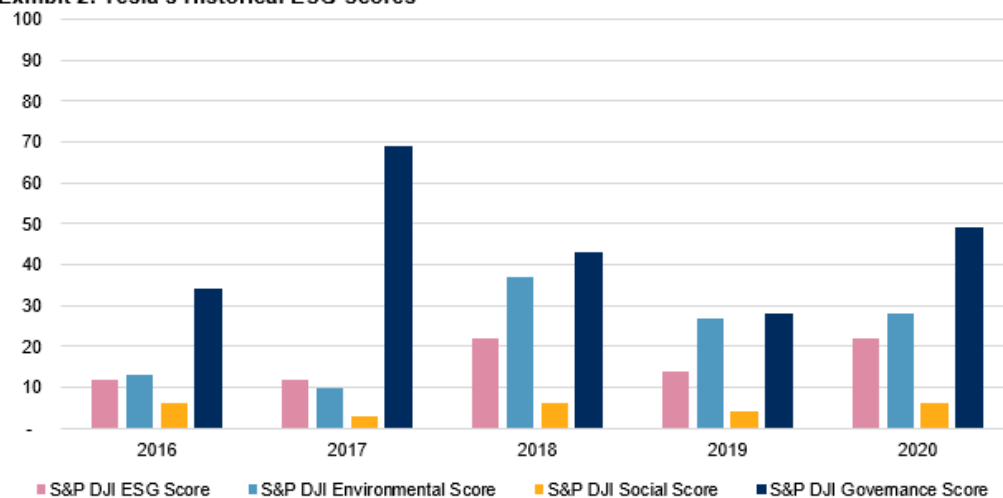
Source: S&P Dow Jones Indices LLC. Data as of Nov. 30, 2020. Chart is provided for illustrative purposes.

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス。2020年11月30日現在のデータ。図表は説明目的のために提示されています。

直近の評価年度では、テスラの S&P DJI ESG スコアは 100 点満点中 22 点であり、2019 年のスコアから 8 ポイント上昇しました。これは ESG ディメンション・スコアによるものです。内訳は、環境スコアが 28（前年から 1 ポイント上昇）、社会スコアが 6（前年から 2 ポイント上昇）、ガバナンス・スコアが 49（前年から 21 ポイント上昇）となっています。テスラは CSA に回答していないため、同社の S&P DJI ESG スコアは公に入手可能な情報を用いて決定されています。

図表 2：テスラの過去の ESG スコア

Exhibit 2: Tesla's Historical ESG Scores



Source: S&P Dow Jones Indices LLC. Data as of Nov. 30, 2020. Chart is provided for illustrative purposes.

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス。2020年11月30日現在のデータ。図表は説明目的のために提示されています。

テスラが電気自動車に特化していることを踏まえると、同社の ESG 総合スコア（および環境スコア）が低いことについて多くの人が驚くかもしれません。ただし、ESG 全体の観点からすると、「環境に優しい」商品を製造しているからといって、自動的に企業の ESG スコアが良くなるわけではありません。S&P DJI ESG スコアは企業の幅広いサステナビリティ・パフォーマンスを把握することを目的としているため、多岐にわたる項目が評価の対象となります。

環境ディメンションでは、テスラは低炭素戦略の分野において満点に近い 99 の高スコアを獲得しました。ただし、同社は環境レポート、気候戦略、および環境方針・管理システムにおいて低いスコアとなったため、全体的な環境スコアは低下しました¹。また、テスラは特に社会的指標でも全体的に低いスコアとなっており、例えば人材開発、社会的レポート、および労働慣行指標などで低評価が目立ちました。一方、ガバナンス分野では特に前年比で比較的良好なスコアとなりました²。

S&P 500 ESG 指数メソドロジー

このことは、S&P 500 ESG 指数へのテスラの採用を判断する上でどのような意味合いがあるのでしょうか？それは、2021 年 4 月の最終営業日に次回の年間リバランスが終了するまで分かりません。その時点で、テスラは多くの ESG 基準に関して同業他社と比較されます。ただし、上述したように、S&P 500 ESG 指数の構成銘柄を決定する最大の要因は企業の S&P DJI ESG スコアです。採用可否を判断する上で重要な要素は、企業の絶対パフォーマンスではありません。企業が同業他社よりも高いスコアを獲得していることも重要となります。

この指数メソドロジーでは、S&P DJI ESG スコアを 2 つの方法で使用しています。1 つ目として、世界産業分類基準（GICS®）の各産業グループ内で、ESG パフォーマンスが下位 25% の企業をグローバル・ベースで除外します。これにより、現地ベースで見ると ESG パフォーマンスが良好であるものの、グローバル・ベースで見ると ESG パフォーマンスが劣っている企業をこの指数に採用することを防ぐことができます。2 つ目として、各企業はそれぞれの ESG スコアに基づいて S&P 500 内でランク付けされ、次に産業グループの当初の時価総額の 75% にできるだけ近づけるようにトップダウン・アプローチにより選択されます。テスラは、これら 2 つの主要な審査を上手く切り抜け、S&P 500 ESG 指数に採用されるのでしょうか？それは 2021 年 4 月に判断されます。S&P 500 ESG 指数には、テスラに特権を与えるような早期採用ルールはなく、その他の企業と同じ取り扱いになります。

このブログの執筆に大きく貢献した Reid Steadman に感謝の意を表したいと思います。

¹ CSAによると、低炭素戦略（自動車産業に対する独自の基準）とは、企業がコア・ポートフォリオの炭素強度を削減するために実施する戦略の評価と定義されています。一方、気候戦略とは、気候変動が業界に及ぼす影響に取り組むために企業が策定する戦略の評価と定義されています。また、環境方針および管理システムでは、費用対効果の高い方法で環境パフォーマンスを改善し、環境法令を遵守していないことにより生じる罰金や罰則のリスクを抑えるために、企業が実施する管理ツールを対象としています。

² テスラのスコアに関する背景を説明します。S&P DJI ESG スコアは世界の産業全体にわたり正規化されており、パーセンタイルとして表示されるように設計されています。したがって、スコアが 22 であれば、その企業は世界の同業他社の 22%よりも高いスコアを獲得していたことを表しています。

このブログの記事は意見であり、助言ではありません。免責条項をお読み下さい。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス免責事項

©S&Pグローバルの一部門である S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC 2021 年。不許複製。Standard & Poor's, S&P、は、S&Pグローバルの一部門であるスタンダード・アンド・プアーズ・ファイナンシャル・サービスズ LLC (以下「S&P」)の登録商標です。「ダウ・ジョーンズ」は、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズ LLC (以下「ダウ・ジョーンズ」)の登録商標です。商標は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC にライセンス供与されています。本資料の全体または一部の再配布、複製、そして(または)複写を書面による承諾なしに行うことを禁じます。本資料は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC、ダウ・ジョーンズ、S&P 或いはそれぞれの関連会社(これらを合わせて「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス」という)が必要なライセンスを持たない地域におけるサービスの提供を行うものではありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC が提供する全ての情報は、個人とは無関係であり、いかなる個人、事業体または集団のニーズに合わせて調整したものではありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、その指数を第三者にライセンス供与することに関連した報酬を受けています。指数の過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。

指数に直接投資することはできません。指数が表すアセット・クラスへのエクスポージャーは、指数に基づく投資可能商品を通して得られます。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、第三者が提供し、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数のリターンに基づく投資リターンを提供することを目指す投資ファンド、或いはその他のビークルを提供、推奨、販売、宣伝、或いは運用することはありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、指数に基づく投資商品が指数のパフォーマンスに正確に連動し、プラスの投資リターンを上げることについて保証しません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC は投資顧問会社ではなく、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、そうした投資ファンド或いはその他の投資ビークルに投資する適否に関して表明することはありません。そうした投資ファンド或いはその他の投資ビークルへの投資決定は、本資料で言及されたいかなる部分も信頼して実行されるべきではありません。そうしたファンド或いはその他のビークルに投資しようとする投資家に対して、投資ファンド或いはその他のビークルの発行体またはその代理人が作成する目論見書または類似文書に記載されているように、そうしたファンドへの投資に伴うリスクを注意深く検討した上で投資することを助言します。指数への証券の組入は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスによるその証券の買い、売り、または保有の推奨ではなく、また投資助言でもありません。S&P の米国のベンチマーク指数及びダウ・ジョーンズの米国のベンチマーク指数の終値は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが、指数構成銘柄の各主要取引所が設定する終値に基づいて計算します。終値は S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスがサードパーティ・ベンダーの 1 社から受け取り、別のベンダーから届く価格と比較することにより検証されます。各ベンダーは終値を主要取引所から受け取ります。日中の実時間価格は、2 次検証を経ずに同様に計算されます。

これらの資料は、信頼できると考えられる情報源から一般に公衆が入手できる情報に基づき、情報提供のみを目的として作成されたものです。本資料に記載されるいかなる内容(指数データ、格付、クレジット関連の分析とデータ、モデル、ソフトウェア、或いはその他のアプリケーションまたはそれからの出力)も他のいかなる部分(以下「内容」という)も、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスによる事前の書面による承認なくして、いかなる形式とイかなる手段によっても、改変、リパースエンジニアリング、再製または配布、或いはデータベースまたは検索システムへの保存を行うことはできません。内容を、不法な或いは未認可の目的に使用してはいけません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス及びいかなるサードパーティ・データ・プロバイダー及びライセンサー(合わせて「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者」という)も、内容の正確性、完全性、適時性或いは利用可能性を保証しません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる過誤、遺漏についても、原因の如何を問わず、内容を用いて得られた結果について責任を負いません。内容は、「現状」ベースで提供されています。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、特定の目的または利用に対する販売可能性または適合性についてのいかなる保証も、バグやソフトウェアのエラーまたは欠陥がないこと、内容の機能が中断されないこと、或いは内容が何らかのソフトウェアまたはハードウェア構成により動作することの保証も、以上を含みそれに限定されない、あらゆる明示的または暗示的保証も拒否します。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる場合も、いかなる当事者に対しても、内容の使用に関連して発生する、いかなる直接的、間接的、偶発的、典型的、補償的、懲罰的、特殊な或いは結果的な損害、費用、経費、法的費用、或いは損失に対しても(逸失収入または逸失利益、及び機会費用を含みそれに限定されず)、たとえ損害の可能性について事前に通告を受けていようと、責任を負いません。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、各事業部の活動の独立性と客観性を維持するために、それぞれの活動を他から隔離しています。その結果、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの一部の事業部は、他の事業部では入手できない情報を保有する可能性があります。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、各分析プロセスの中で受け取った非公開情報の機密を守る方針及び手順を確立しています。

さらに、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、広範なサービスを、証券の発行体、投資顧問会社、証券会社、投資銀行、その他の金融機関及び金融仲介業者など多くの組織に提供しています。したがって、これらの組織から報酬その他の経済的便益を受ける可能性があります。これらの組織には、証券やサービスを推奨し、格付け評価し、モデルポートフォリオに組入れ、評価するか別の対応を行う組織が含まれます。

最新のブログ「[Indexology](https://www.indexologyblog.com)」(英語)をご覧になりたい方は、こちらのサイト

www.indexologyblog.com よりご登録いただけますと、更新の都度メッセージが届きます。